

# 保健体育科学習指導案

令和3年11月 第3学年 指導者 黒岩 慎也

## 1 単元名 球技「バレーボール」

## 2 学習指導要領上の位置付け

### E 球技

#### <知識及び技能>

(1) 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、球技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。

ア ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。

#### <思考力、判断力、表現力等>

(2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

## 3 目標

バレーボールの学習を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。 (知識及び技能)

イ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。

(思考力、判断力、表現力等)

ウ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等)

## 4 指導計画 ※別紙参照

5 本時の展開 (3/12)

(1) ねらい

ポジション別のエキスパート活動を通して、新しく習得する技能の行い方や既習の技能をより正確にできるようにするためのポイントを理解することができるようにする。

(2) 展開

学習活動 ・予想される生徒の反応	時間	○指導上の留意点 ◎研究上の手立て <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価項目&lt;方法(観点)&gt;</span>
1 準備運動を行う。 ・正確にパスがつながるように、しっかりボールをミートできるようにしよう。	7分	○チームごとに、体操の他に準備運動の一環で対人パス、ミート練習、ランニングパスを行い、基本技能の定着を図る。 ○ランニングパスは毎時間連続回数を意識させ、記録が向上するよう意欲的に取り組めるようにする。
2 本時のめあてをつかみ、本時の学習内容がゲームでどのように役立つかグループで考える。 ・自分が正確にトスを上げられれば、強いスパイクにつながって三段攻撃が完成するぞ。	5分	○本時はポジションごとの技能を学習する時間であることと、次回その内容をチームメイトに伝えることを理解させる。 ◎本時の学習内容がゲームでどのように役立つか考えさせ、学習活動の目的意識を高められるようにする。 ○グループ内で個人とグループの本時の目標を共有し、学習活動に対する意欲を高められるようにする。
<b>[めあて] パスやスパイクを正確に行うためのポイントを理解し、チームメイトに伝えられるようにしましょう。</b>		
3-①活動1 (知識及び技能を習得する活動) ポジションごとに分かれ、各ポジションで多用する技能と、その技能を正確に行うためのポイントやコツを理解する。 ・チームのみんなにしっかり伝えられるように、集中して練習するぞ。 ・正確にボールをつなぐためのコツを知りたいな。 ・狙った方向へボールをとばしたい。	18分	◎チームを代表して各ポジションの動きを学習することを意識させることで、活動の必要感を高められるようにする。 ○元バレーボール部員やインターネットの活用を促し、多様な情報を得られるようにする。 ○技能を正確に行うためのポイントを画像を添えてICT端末に記録し、ジグソー活動の際に提示して活用できるようにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">新しく習得する技能の行い方や既習の技能をより正確にできるようにするためのポイントを書き出している。&lt;記述・発言(1)&gt;</div>
3-②活動2 (習得した内容を活用する活動) 各チームに戻り、チーム対抗のゲームを通して、各自が活動1で学習した内容の理解を深める。 ・練習したことがゲームの中で使えるとよいな。 ・試合で使うとなると難しそうだな。	10分	○ポジションを固定し、各自が学習したポジションの特性を發揮できる場が多くなるようにする。 ○ゲーム中に活動1で学習した内容を活用するよう促し、活用を通して学習内容の理解がより深まるようにする。 ○次の時間にはチームメイトへ伝達する活動があることを意識して、技能を上手に行うためのポイントを意識しながらプレイできるように促す。

<p>4 振り返り活動を行い、学習内容の理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日はあまりできなかったな。実際に試合でやるのは難しい。</li> <li>・ポジション別で練習したら、試合中の動きが変わった気がする。</li> </ul>	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○試合の中でポジションの役割を果たすことで、チームにどのように役立ったかという視点で振り返らせ、自己有用感と学習内容の必要感を高められるようにし、次時への意欲につなげられるようにする。</li> <li>○学習支援ソフトの内容を整理させることで、学習内容の理解をより深められるようにする。</li> </ul>
---	------------	--

## 6 板書計画

<p>11月 日 めあて</p>	
<p>パスやスパイクを正確に行うためのポイントを理解し、チームメイトに伝えられるようにしよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見本(バレー部・見本動画)からの気付き 苦手な人の動きとの比較</li> <li>・視点 備え方・型・力の入れ方 体の使い方(動かし方)・タイミング等</li> </ul>
<p>①パス(アンダー・オーバー)、スパイクを正確に行うためのポイントを、グループで協力して理解する。 ↓ ②チームメイトに伝えられるようにする。 ※学習支援ソフトにまとめる 画像 + 解説を提示 + 実演 うまくいったときの感覚も</p>	

指導計画 保健体育科 第3学年 単元名「球技 バレーボール」(全12時間計画)

目標	<p>バレーボールの学習を通して次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。(知識及び技能)</p> <p>イ 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。(思考力、判断力、表現力等)</p> <p>ウ 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)</p>			
評価規準	<p>(1) 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。(知識・技能)</p> <p>(2) 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(思考・判断・表現)</p> <p>(3) 課題を解決するための活動に繰り返し粘り強く取り組むとともに、仲間を励ましたり仲間や相手のよいプレイを称賛したりすること、チーム全員が楽しむことができるよう配慮すること、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、活動場所の安全を確保することをしている。(主体的に学習に取り組む態度)</p>			
過程	時間	○ねらい めあて	・振り返り (意識)	評価項目 〈方法 (観点)〉
つかむ	2	<p>○単元が終わる時の自己やチームの姿をイメージする活動を通して、単元の学習内容や進め方を理解し、学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ゲームを通して既習事項を確認し、自己やチームの課題を明らかにし、ボールをつなぐための基本技能を確実に身に付けようとする意欲をもつことができるようにする。</p> <p>連携プレイができるように、基本技能を確認して自己やチームの課題を把握しよう。</p>	<p>・1年生の時より2年生の時の方がボールがつながるようになった。3年生ではもっとレベルの高いプレイをしたい。</p> <p>・パスがしっかりつながれば、三段攻撃が成功しそうだ。</p>	<p>・自己やチームの課題を発見し、学習カードに書き出したりチームメイトに伝えたりしている。</p> <p>〈記述・観察(2)〉</p>
追究する①	1 本時	<p>○ポジション別のエキスパート活動を通して、新しく習得する技能の行い方や既習の技能をより正確にできるようにするためのポイントを理解することができるようにする。</p> <p>パスやスパイクを正確に行うためのポイントを理解し、チームメイトに伝えられるようにしよう。</p>	<p>・チームのみんなに伝えなければいけないからプレッシャーを感じたけど、自分のポジションの動きがよく分かった。</p>	<p>・新しく習得する技能の行い方や既習の技能をより正確にできるようにするためのポイントを書き出している。</p> <p>〈記述・発言(1)〉</p>
追究する②	2	<p>○技能のポイントを仲間と共有し、技能をより正確にできるようにしたり、ポジション特有の動きを理解し身に付けたりすることができるようにする。</p> <p>パスやスパイクを正確に行うためのポイントを仲間に伝えよう。</p>	<p>・常にボールの動きに集中していれば、すぐに反応して落下地点に素早く入れる。素早く入れれば正確なパスができる。</p> <p>・アドバイスを受けて直すところがはっきりした。直すところを意識して練習ができた。</p>	<p>・技能を正確に行うために、自分が得た知識を活用して仲間にアドバイスしている。〈観察・発言(3)〉</p> <p>・合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。〈観察・発言(2)〉</p>
	2	<p>○ジグソー学習を通して、試合中の効果的なフォーメーションやポジション編成を理解することができるようにする。</p> <p>チームで協力して、ポジションの役割やフォーメーションを理解しよう。</p>	<p>・各ポジションがどのように動けばよいかははっきりしたから、試合中も積極的に動こう。</p>	<p>・試合中の状況に応じたフォーメーションやポジションの役割について書き出している。</p> <p>〈観察・記述(1)〉</p>
	3	<p>○タスクゲームやメインゲームの中で連携プレイができるよう、自分たちのプレイを分析し、チームの課題を把握したり解決方法などを工夫したりする活動を通して、考えたことを伝え合うことができるようにする。</p> <p>動画撮影を活用して自分たちのプレイを客観的に見ながら、チームとしての動きを高めよう。</p>	<p>・サーブレシーブとスパイクレシーブのポジションの違いを意識したら、ボールに触れられるようになってきた。</p> <p>・自分たちの試合を動画で見たら、意外と埋められそうな空間の空き方だったから、次の試合はもっと素早く動けるようにしよう。</p> <p>・チームで話し合ったことを意識して試合をしたら、ボールがつながるようになってきた。</p>	<p>・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げている。〈観察(1)〉</p> <p>・連携プレイをするための課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。〈観察・発言・記述(2)〉</p> <p>・互いに助け合い教え合おうとしている。〈観察・発言(3)〉</p> <p>・課題解決に向けて、チームの話し合いで発言している。〈観察・発言(3)〉</p>

まとめ	2	<p>○単元のまとめとして正規のルールに近い試合を行い、学習の成果を発揮する活動を通して、自己やチームの技能の高まりを感じたり、お互いの頑張りを認め合ったりして学習の充実感を感じることができるようにする。</p> <div data-bbox="324 340 923 406" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習したことを発揮して試合を楽しもう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のはじめよりも、ボールがつながるようになった。</li> <li>・チームで声を掛け合ったかあら、試合が盛り上がって楽しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動いている。        &lt;観察(1)&gt;</li> <li>・仲間を励ましたり、仲間や相手の良よいプレイを称賛したりしている。        &lt;観察・発言(3)&gt;</li> </ul>
-----	---	---	---	---